



2013第3号
2013年1月25日
発行元
自治労北海道
檜山地方本部
TEL0139-54-2012
FAX0139-54-2010

退職手当、年度ごと引き下げで妥結

北海道市町村職員手当組合との交渉

北海道市町村職員退職手当組合から提案があった退職手当の引き下げについて道本部は、1月17日に3回目の交渉を行い、13年4月から支給率を3か年で段階的に引き下げることとして妥結した。

道退手組合の当初提案は今年4月から支給率を現在の100分の102から2年間3段階（6カ月、9カ月、9カ月）で100分の87に引き下げるとする国に

準ずる内容。道本部は、国と地方の退職の現状、支給額が異なることから反対し、29分ストライキを視野に闘争を展開。

結果として支給率の引き下げ阻止はできなかつたが、通減期間は加入市町村からの反発もあり、本

年4月から12か月ごとの引き下げとし、3カ年で完了することとして妥結した。

なお、道職員については、退職手当引き下げについて年度内実施で提案を受けており、全道庁は1月29日を山場として闘争を展開している。

たたかえる春闘の再構築を

地本合同春闘討論集会

渡島檜山地本合同春闘討論集会が1月

19日、函館市内で開催され、檜山地本からは7単組総支部16人（うち女性3人）が参加。

川村渡島地本執行委員長が「労働運動の基本にかえってたたかえる春闘の再構築を」などと主催者を代表し、また、藤盛道本部副執行委員長から情勢報告を交えながら「全体の労働、特に未組織や非



自治労は第143回中央委員会（東京）において「あいはらくみこ」さんを推せん決定しています。

あいはらくみこ

分権・自治を推進し 市民参加のまちづくりを

参議院議員 あいはらくみこ あいはらくみこ 検索
〈プロフィール〉1947年北海道生まれ。北海学園大学卒業後、民間企業で勤務。86年札幌市非常勤職員。01年北海道本部副執行委員長、03年自治労中央執行委員。07年第21回参議院議員選挙全国比例区で当選。現在内閣委員長、共生社会・地域活性化に関する調査会

今後の予定

- 1月26日 檜山地本第2回単組総支部代表者会議兼第2回執行委員会（乙部町）
 - 1月26日 ふくはら賢孝新春のつどい（江差町）
 - 1月29日 道本部第1回拡大闘争委員会（札幌市）
 - 1月31日 自治労本部第85回臨時大会（東京都・2/1迄）
 - 2月1日 連合檜山地協春闘討論集会（江差町）
 - 2月5日 道本部発足50周年記念レセプション（札幌市）
 - 2月6日 道本部第54回臨時大会（札幌市）
 - 2月16日 道南医療第19回道南医療定期総会・旗開き・幹事会（函館市）
 - 2月22日 第34回全国町村職総決起集会（東京都）
- ※予定は変更となる場合があります。

正規の賃金や雇用条件を上げなければ、私たちの労働条件の維持ができない」とそれぞれ挨拶した。

榑部・道本部賃金労働部長、長尾・自治労共済事業部次長が今春闘期における道本部方針について提起を受けたほか、自主福祉活動の推進として全労済道南支店小原支店長、北海道労働金庫函館支店高田副支店長がそれぞれ取り組みを報告した。

「雇用と年金の接続、再任用制度について」と題し、榑部部長が春闘提起に引き続き講演。現状の再任用制度の問題点を指摘した上で、退職後の



逢坂氏惜敗 第46回衆議院議員

第46回衆議院議員

無収入期間を避けるために再任用制度を用いさせる必要性を説いた。

渡島、檜山地本の秋期闘争の中間総括、討論した上で三上檜山地本執行委員長の団結ガンバローで集会を終了した。

総選挙が12月16日投票で行われた。第8区からは、前職で民主党公認で自治労組織内候補の逢坂誠二氏のほか4氏が立候補。約10万8千票を獲得した前田一男氏が当選し、逢坂氏は約7万7千票で次点となり1996年から民主党が死守した議席を失った。また、比例代表でも惜敗率で3位となり復活当選ならず。

民主党は道内11選挙区に候補者を擁立したが全員落選した。今闘争をしっかりと総括し、7月に行われる参議院議員選挙に向けた取り組みを強化しなければならない。